

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リベール加古川駅前マンション	階数	地上14F
建設地	兵庫県加古川市加古川町篠原町50	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	201人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年7月22日
敷地面積	900㎡	作成者	
建築面積	429㎡	確認日	2021年7月22日
延床面積	4,229㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	多くの家族が生活を営む場として、利便性・居住性はもちろんの事、環境性、経済性でも満足頂けるマンションを建設する事をメインコンセプトとした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	優れた断熱材・アルミサッシに複層ガラスを採用し、エネルギー消費の低減を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 駅前でありながら、緑を豊富に囲り、憩いを持たせた。
LR1 エネルギー	断熱材を適材適所に施し、断熱性能等級4を確保し、一次エネルギー等級も4を確保した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の排出量の抑制に努め、汚水処理においてはディスポーザーを設置し、環境に配慮した。
Q2 サービス性能	ハザードマップにより洪水のケアの為、マンション全体の主電源設備を2階に設け、EV等の機械設備も屋上に設置するよう配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	日常的に使用する水栓金具を節水型とし、浴槽は高断熱浴槽として節湯をし、環境に配慮したしようとしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される